

陳 情	受 理 番 号	64	受 理 年 月 日	平成 30 年 11 月 30 日	付 託 委 員 会	教育福祉
件 名	那覇市営石嶺団地への障害者グループホーム設置における賃貸の優遇について					

件名：那覇市営石嶺団地への障害者グループホーム設置における賃貸の優遇について(陳情)

1.趣旨

近年、福祉政策は地域福祉の充実、施設福祉から在宅への施策推進となっており居宅事業やグループホーム事業等の強化が進められています。

当法人も在宅福祉を進める中、平成28年8月には、市のご厚意を頂き、石嶺団地内に「グループホームほくれい」を開設することが出来ました。事業開始当初より石嶺団地自治会のみなさまの好意のご協力により、同年11月には定員6名の利用者もすべて決まり「障害があっても地域で暮らしたい！」の思いを実現させることが出来ました。ありがとうございました。

今後も在宅福祉の強化とグループホーム事業を展開していきたいと考えておりますが、石嶺地区におきましてはモノレール開通等の理由で家賃高騰や周辺住民の障害者グループホーム拒否等により、地域でのグループホーム事業所設置が極めて厳しい現状にあります。

つきましては、利用者の自己負担軽減、石嶺団地自治会の好意的な環境から市営住宅への障害者グループホーム設置をお願い致します。

2.理由

①現グループホーム開設後も地域からの問い合わせが多く、特に障害者本人や保護者からの入居希望に関する問い合わせが後を絶たない状況です。平成28年事業開始の現ホーム入居者募集の際は、定員6名に対して19名の利用希望者があり、やむなくお断りした経緯もあり、障害者の希望に極力応えたい。

②現在のグループホーム環境、石嶺団地自治会の皆様の障害者に対する理解が素晴らしく、利用者の生活環境としても快適で利用されている皆さんが明るく自立に向けた取り組みを行っている。

③現在のグループホームほくれいの職員(世話人、夜間職員)は、全員女性が従事しているが、このことは女子利用者のご家族や関係者からは、安心して託せると信頼の言葉を得ています。

④現在のグループホームほくれいの職員は全員石嶺団地にお住いの婦人部の皆さんで、チームワークが素晴らしい。新たにグループホームを設置することになっても、団地の婦人部の皆さんの協力は十分に得られ、また、職員確保が容易な事も団地内ホームを希望する理由でもあります。

3.具体的要望

建築を終えた、那覇市営石嶺高層住宅B棟に、障害者のグループホーム(定員6名、男女それぞれ3名)を開所する目的で3LDKの住宅2世帯を賃貸提供して頂き、障害者グループホーム(障害者共同生活援助事業)を実施する。

以上